

北陸農政局長賞

黒倉集落協定 (新潟県十日町市)

◆背景

黒倉集落は十日町市南西部に位置し、豪雪地域かつ急傾斜・未整備の農地が多い地域である。農地維持には多大な労力がかかる一方、担い手不足や高齢化が進み、「このままでは農業・集落の継続が困難になるのでは」と危機感を抱いた住民がむらづくり活動を開始。集落の3つの将来像（農業・地域の後継者育成、商品開発等による農業所得確保、農地集積・集約による耕作放棄地の発生防止）を明確化し、集落全体でむらづくり活動に取り組んでいる。



◆取組概要

① 農業生産面

- ・ **遊休農地の再生・活用**：遊休農地をそば畑として再生し、イベントや商品開発に活用。
- ・ **地元資源を活用した商品開発**：地域のそばや神目^{かみめほうき}（ホーリーバジル）を活用し、生そばやそばの実アイス、神目^{かみめほうき}のクッキー等を開発・販売。
- ・ **担い手の確保と就農しやすい営農体制整備**：移住者や地域おこし協力隊を積極的に受け入れるとともに、営農技術の提供や農機の貸し出し、農地の斡旋、大型特殊免許の取得費用支援など就農しやすい体制を整備。

② 生活・環境整備面

- ・ **移住促進体制の整備**：リフォームした空き家を活用して豪雪地の生活体験を提供する「お試し移住」を実施し、移住後のミスマッチを防止。併せて、移住者や若者の交流の場となる地域活動団体「縄文ノ和黒倉」を設立するなど、地域外から人の入りやすい土台を形成。
- ・ **交流イベントによる賑わい創出・伝統文化の継承**：田植え・稲刈り体験や黒倉新そば祭りなどの地域資源を活用したイベントを実施し、交流人口の拡大や地域の賑わい創出に寄与するとともに、「さいの神」などの伝統行事を開催し、若者へ地域の文化を継承。
- ・ **住民組織による除雪支援**：住民有志で「黒倉助っ人隊」を組織し、高齢者宅の除雪を実施。

◆写真で見る団体の取組



遊休農地を再生したそば畑



神目^{かみめほうき}を使用したクッキー



「お試し移住」の住居



黒倉新そば祭り



伝統行事「さいの神」



「黒倉助っ人隊」による除雪